

# 夏休みおすすめ本

## ～中学生編～



### 本気で読書、のすすめ

「読書」は疲れる作業です。語彙力、文法力、想像力その他いくつかの能力を行使し、頭をフル回転させることが必要なので、疲れる、面倒、眠くなるという気持ちもわかります。それでも、読書することを（できれば強く）おすすめしたいのです。それは、読書することで得られるものが、必ずあるからです。

なぜ読書が必要なのかわからない。何を読んだらいいのかわからない。そんな時は、ここで紹介するおすすめの本を手にとってみてください。まずは気になるところから、数ページだけでも読んでみて！



#### 『読書する人だけがたどり着ける場所』 斎藤 孝/著（YA 019/サ）

読書とはどんなことか、どう読んだらいいのかなど、わかりやすく説明した1冊。本書で紹介されている本の中には一見難しそうなものもありますが、解説を読んでいるうちに興味がわいてきます。表紙のイラストのように、夢中になって読める本に出会えますように。



#### 『未来を生きるための読解力の強化書』 佐藤 優/著（F/ミ）

元外務省分析官の経歴を持つ著者が、読解力とはなにか、なぜ必要なのか、どう読んだら身につけることができるのかを、鋭く力強く説明します。中には難しく思えたり、疑問に思うような箇所もありますが、丁寧に読み進めてみてください。きっと、将来の指針になるような言葉に何度も出会えるはず。著者が提言する「読解力」は、文章を読み解くだけにとどまりません。



- ※ ★…過去3年間に公立高校入試問題(国語)に出典された作品
- ※ YA…中高生に特におすすめの本
- ※ E…絵本

発行日/令和5年7月1日  
発行/愛西市中央図書館

## おすすめ本～物語～

### 『給食アンサンブル』 如月 かずさ/著 (YA 913/キ)★

転校生の美貴、優等生の清野、人気者の雅人ら中学1年生6人の悩みと成長を描いた連作短編集。部活や恋愛に悩む2年生を主人公にした続編もあり。

㊤「ミルメーク」「マーボー豆腐」「黒糖パン」など、給食の人気メニューが物語のカギになっています。どのクラスにもいそうな主人公6人ですが、みな人知れず悩みを抱えています。みなさんは誰に共感しますか。



### 『ヨンケイ!!』 天沢 夏月/著 (YA F/ア)★

4人が100メートルをつないでいくリレー競技(継走)、「ヨンケイ」。メンバーは、兄へのコンプレックスに悩む1走・受川、タイムに伸び悩む2走・雨夜ら4人。それぞれが葛藤を抱えながらもリレーを通して成長する姿を描いた物語。

㊤臨場感にあふれるリレー描写は緊張感があり、読みながらつい力が入ってしまいます。吹奏楽、野球部など、部活をテーマにした本はほかにもいろいろあります。



### 『あした、弁当をつくる。』 ひこ・田中/著 (YA 913/ヒ)

近頃母親が作る弁当を重く感じる。「いってらっしゃい」と背中に触れられるのもぞっとする。過保護な母親から自立すべく中学生のタツキが思いついたのは、自分で弁当を作ること。母親に泣かれても、高圧的な父親に怒鳴られても、お小遣いをやりくりして食材を調達し、自分で弁当を作り続けるタツキ。さらに洗濯まで自分でするようになるが…。

㊤親に対する思いは複雑。そんな気持ちをユーモアを加えて描いた物語。タツキの気持ち、中学生のみなさんはどのくらい共感しますか。



### 『仕事で大切なことはすべて尼崎の小さな本屋で学んだ』 川上 徹也/著 (F/カ)

書籍関連の大手企業に採用された新入社員の理香。配属先での目標もなく、働くことに行き詰ってしまう。ある日、取引先の小さな書店の店主、由美子さんと出会ったことから、仕事に対する考え方が変わっていく。

㊤社会人が主人公ですが、物語のテーマは仕事以外にも通じるところがあります。みなさんが数年後社会人になったとき、この本のことを思い出してくれることを願って。



### 『パンに書かれた言葉』 朽木 祥/作 (YA 913/ク)

イタリア人の母親と広島出身の父親をもつ中学生のエリー。東日本大震災の後イタリアの親戚宅に身を寄せる。そこで、過去に起きた悲惨な歴史的な出来事について知ることになり、自分の名前に込められた本当の意味を考える…。

㊤中学生エリーの視線から、戦争で起こった2つの悲惨な出来事について知ることができる。悲しい中にも美しさや希望が見いだせる1冊。



### 『逆ソクラテス』 伊坂 幸太郎/著 (F/イ)★

不器用な児童は落ちこぼれとし、見下した態度をとる教師。クラスの転校生安斎はそんな教師の先入観を覆すべく、まわりを巻き込んだ作戦を展開する。非日常的な出来事に対し逆転を目指す少年たちの短編集。

㊤最初の短編で、小学生が教師に向かっての一言…。読後、本当にスカッとします。とにかくおもしろい物語が読みたい人におすすめ。



### 『わたしのアメリカンドリーム』 ケリー・ヤン/作 (児童 933/ヤ)

中国から家族で移住してきた5年生のミア。両親はモーテルの経営を始めるが、オーナーから不当な扱いを受け、差別や貧困に悩まされる毎日。苦労続きの生活を送りながらも、ミアは大人顔負けの機転をきかせながらトラブルを乗り越えていく。㊤アメリカでは多くの移民が深刻な問題を抱えています。トラブル続きの生活の中、両親を助けるために知恵をはたらかせるミアの一生懸命さに、思わず読み入ってしまいます。



### 『トム・ソーヤーの冒険』 マーク・トゥエイン/著 (YA 933/ト)

アメリカ南部に暮らすトムは、悪いことや遊びが大の得意。ある夜、町の嫌われ者ジョーが墓場で死体を埋めているところを目撃してしまう。ジョーが隠し持っていると噂の宝を探しに、トムは友人ハックと冒険に出る。

㊤名作や古典は読みにくい印象があるが、現代語訳なので読みやすい。1876年に出版されて以来、世界中で愛されてきたそのおもしろさを、ぜひ味わってみてください。いろいろな出版社から出ているので、翻訳を読み比べる楽しさもあります。



## おすすめ本～ヒロシマ・ナガサキを知る～

8月に行われる広島市の平和記念式典には、全国から多くの人たちが参加しており、愛西市でも各中学校の代表を同式典に派遣しています。同じ過ちを繰り返さない。戦後78年が過ぎた今も、その気持ちを持ち続けていくために。



### 『ぼくは満員電車で原爆を浴びた』

『11歳の少年が生きぬいたヒロシマ』米澤 鐵志（児童 916/ヨ）  
いつも通りの朝、路面電車に乗っているとき、それは起こった。当たり前の日常が一瞬で奪われ、地獄のような日々が続く。爆心地から750mという近距離で被爆し、奇跡的に生き残った少年の凄惨な体験とその後を綴った1冊。



### 『ワタシゴト』 中澤 晶子/作（児童 913/ナ）

『ワタシゴト』とは、私的なこと、そして渡し繋いでいくこと。14歳の中学生たちが、修学旅行で広島市の被爆地を訪れる。家族とのトラブル、不登校など、様々な事情を抱えた中学生たちを、引率の先生たちや語り部の方などの気持ちも織り交ぜながら描く。原爆の悲惨な描写はほとんどないが、静かに訴えかけてくる物語。続編の『あなたがいたところ』もおすすめ。



### 『綾瀬はるか「戦争」を聞く』

TBSテレビ『NEWS23』取材班/編（YA 080/イ）  
広島出身の綾瀬が、被爆者や戦争体験者らを訪ね、戦争の記憶を聞く。多くの人が、思い出すのも口にするのもつらすぎると、深い悲しみを何十年もひとり抱えていた。最後の「おわりに」まで読んでほしい1冊。続編もあり。



### 『ヒロシマ きえたかぞく』 指田 和/著（E/ヒ）

### 『ある晴れた夏の朝』 小手毬 るい/著（児童 913/コ）

### 『平和のバトン 広島の高校生たちが描いた8月6日の記憶』

弓狩 匡純/著（児童 319/コ）

## おすすめ本～10代の震災体験～

2023年より、愛西市立中学校の修学旅行先に東日本大震災の被災地を訪れる体験学習が加わりました。現地を訪れ、語り部の方から直接お話を伺う貴重な体験をより実りあるものにするために、関連する書籍を読んでみませんか。



### 『16歳の語り部』 語り部 雁部 那由他 他（YA 369/ジ）

震災当時小学校高学年だった3人の高校生たちが、震災を語ることができる最後の世代として語り部の活動を始めた。報道されていた被災状況からは見えにくい子どもたちの声。悲惨な状況の中、子どもたちは日々何を感じていたのか。



### 『この川のおこうに君がいる』 濱野 京子/作（YA 913/ハ）

知り合いのいない東京の高校を選んだ主人公の梨乃。被災者であることを隠して過ごすある日、福島からの転校してきた遼と出会う。浸水や放射能の被害から3年後の彼らの心を描く。物語ではあるが、震災被害と被災者の感情について気づかされることが多い作品。



### 『ただいま、おかえり。3.11からのあのこたち』 石井 麻木/写真・文（E/タ）

### 『大切な人は今もそこにいる ひびきあう賢治と東日本大震災』 千葉 望/著（369/ノ）

## おすすめ本～ジュニア新書～

新書は、文庫よりも少し縦長に大きい本。物語以外のありとあらゆるジャンルを取り扱っています。興味のある分野を掘り下げて知りたいとき、苦手教科を勉強とは異なる角度からみてみたいときなど、新書を手に取ってみてはいかがでしょうか。気になるタイトルを見つけてくださいね。



### 『10代の悩みに効くマンガ、あります!』 トミヤマ ユキコ/著（YA 080/イ）

### 『なんで英語、勉強すんの?』 鳥飼 玖美子/著（830/ト）

### 『深堀り! 中学数学 教科書に書かれていない数学の話』

坂間 千秋/著（080/イ）

### 『10代が考えるウクライナ戦争』 岩波ジュニア新書編集部/編（YA 080/イ）

### 『平安男子の元気な!生活』 川村 裕子/著（080/イ）



## おすすめ本～ノンフィクション～

### 『キリン解剖記 ジュニア版』 郡司 芽久/著 (児童 489/グ)

計報連絡が入るや、全ての予定をキャンセルして解剖に向かう。キリンの研究者として、様々な問題に直面しながらも真摯に研究に取り組む著者の奮闘を記した本。  
 ③「キリンの解剖」という、多くの人にとって未知の世界を楽しく紹介します。  
 コラムの中の、「知識は生活を豊かにし、目にとまるものに価値を与え…」という文章がとても印象的。好奇心をもって学ぶことの楽しさも伝わってきます。



### 『「オードリー・タン」の誕生 だれも取り残さない台湾の天才 IT 相』

石崎 洋司/著 (児童 289/オ)

台湾の政治家、オードリー・タンは、天才かつ個性的であるがゆえ、いじめや不登校を経験し、死をも考えるまでに。そんな彼女がいかにして希望を取り戻し、台湾に新しい民主主義を誕生させたのか。その半生を紹介する。  
 ③彼女が考えたシステムのひとつに、自分と異なる意見を批判・中傷するのではなく、違いを乗り越えるため「おおまかな合意」を引き出すシステムがあります。異なる意見に炎上しがちな現代において、大切にしたい考え方ではないでしょうか。



### 『はじめての哲学』 藤田 正勝/著 (YA 080/イ)★

私たちはなんのために生きているのか。「生」や「死」、「心」とは何か。哲学的な問題をやさしく説明します。  
 ③「哲学」と聞くと難しいイメージですが、「なぜ勉強するのか」「なぜ働くのか」など、哲学は身近な疑問の延長にあります。いつもより時間がある休みの時期だからこそ、じっくり読んで考える本はいかがですか。哲学に興味があれば、『14歳の君へ』(池田晶子 YA100/イ)もおすすめ。



### 『泣いたあとは、新しい靴をはこう。10代のどうしてもよくない悩みに』

作家が言葉で向きあってみた』 日本ペンクラブ/編 (YA 159/ナ)

「こんな自分って、変じゃないですか?」「ひとりているのって、だめなんですか?」自身の体についてから、恋愛、家族、友人関係まで、中学生から寄せられた様々な悩みに、有名作家など著名人たちが真剣に答えた本。  
 ③全体を読み通さなくても、興味のある質問から選んで読んでも大丈夫。時に厳しい返答もありますが、悩みに対してそれだけ本気で答えていることが伝わってきます。



## おすすめ本～絵本～

文字数は少ないものが多い絵本は小さい子のものだと思われがちですが、年齢に関係なくおすすめです。小さい頃読んだ絵本も、様々な経験を経た後では受け止め方が違ってくことも。シンプルな文章に込められたメッセージをどう読み取るかは自分次第。楽しんで!



### 『空の飛びかた』 セバスティアン・メツシェンモーザー/作 (E/ノ)

ある日、空から落ちてきたペンギンに出会った。鳥にならなければ飛べるはず、とペンギンは言う。航空力学を取り入れ、試行錯誤であらゆる手段を講じたが、やっぱり飛べない。「ペンギンは飛べない」という固定観念を払拭し、失敗と挑戦を繰り返すペンギンと男の話。



### 『まめまめくん』 デヴィッド・カリ/作 (E/マ)

まめまめくんは豆つぶほどの男の子。小さいことなど気にせず、毎日楽しく暮らしていた。でも小学校にあがると、できないことが多くなり自分がとても小さいことを痛感する。椅子に座れない、友だちとも遊べない。こんなに小さいまま、やがてまめまめ君は大人になり、自分にぴったりの仕事をみつけます。



### 『わたしとなかよし』 ナンシー・カールソン/作 (E/ワ)

わたしはわたしが大好き。わたしを大事にしたいから、身の回りのことをきちんとするし、失敗した時ははげましてあげる。すてきなわたしの絵本。



### 『13歳からの絵本ガイド YAのための100冊』

ひこ・田中 金原 瑞人/監修 (YA 019/ジ)

幅広い年代におすすめの絵本。その中から特に10代の人たちに今読んでほしい絵本を100冊紹介する。人生から恋愛・友情、家族についてなど、様々なテーマを扱っている。

